

第8号 稲作管理特報

令和7年7月14日
朝 日 町
黒東地域農業技術者協議会

8～9月の気温は平年より高いと予想されていることから、葉色が淡いほ場では、白未熟粒の発生を防止するため、追加穂肥を施用しましょう。水管理は、幼穂形成期～出穂期までは「飽水管理」を行い、稲体活力を維持しましょう。また、出穂から20日間は「湛水管理」を必ず行いましょう。

1. 「コシヒカリ」の追加穂肥

穂揃期の葉色を 4.2 ～ 4.5（砂壌土は 4.5）に誘導するため、葉色が淡いほ場は基肥一発肥料の場合でも追加穂肥を施用しましょう。

基肥一発肥料を使用したほ場で、**7月24日頃（出穂の7日前）に葉色が 4.2（洪積土の場合は 4.0）以下の場合は、追加穂肥を施用**しましょう。

施用時期	肥料名及び施用量
7月24日（木） ～ 7月28日（月）	「追肥3号」など穂肥用の肥料※ 5～7kg / 10a (N成分：0.75～1.05kg/10a) ※その他の肥料（流し込み・ドローン等）については、 担当指導員にご相談ください。

※洪積土の地区 入善町：野中、舟見 朝日町：境、笹川、南保、山崎、大家庄

2. 今後の水管理

○幼穂形成期～出穂までの管理 … 飽水管理

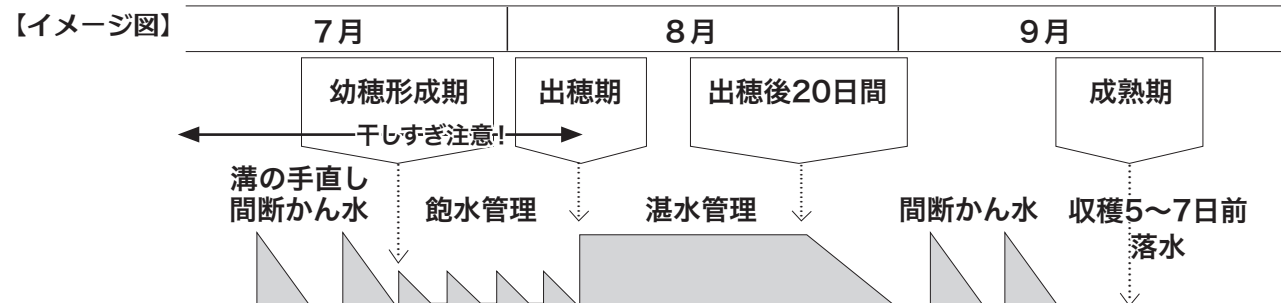
常に足跡や溝に水が残るくらいの状態を保ち、根の活力を維持し、葉色を高めていきましょう。ただし、4日以上水が滞っていたら落水してください。

※**干し過ぎの水管理は厳禁です。穂肥成分が溶出しているのに、水分が無いと稲に吸収されません。もったいない!!**

○出穂後の管理 … 出穂から20日間は湛水管理

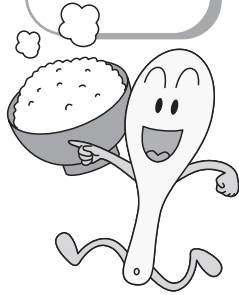
田面が出ない程度に湛水状態を保ちましょう。ただし、溜めっぱなしにせず、ほ場内の水を入れ替えましょう。**かけ流しは絶対にしないでください。**

○出穂20日以降～刈取り5日前 … 間断かん水で稲の活力維持に努めましょう。



溝に水が残る程度の
飽水管理

高温でも夏バテしないよう
水管理をこまめに行いましょう！



3. 中・晩生品種の病害虫防除

「コシヒカリ」「ミルキークイーン」など中生品種

及び「てんこもり」など晩生品種の基本防除

(10a当たり散布量)

防除時期	中生	1回目（走り穂～出穂期）	2回目（穂揃期～傾穂期）
		7月31日（木）～8月2日（土）	8月8日（金）～8月10日（日）
防除時期	晩生	1回目（走り穂～出穂期）	2回目（穂揃期～傾穂期）
		8月3日（日）～8月5日（火）	8月11日（月）～8月13日（水）
粉剤体系	乗用管理機等	ブラシントレバリダ粉剤DL (いもち病、紋枯病、カメムシ類、ウンカ類)	ラブサイドキラップ粉剤DL※ (いもち病、カメムシ類、ウンカ類)
		4kg	4kg
液剤体系	ドローン	スタークル液剤10+モンカットフロアブル (紋枯病、カメムシ類、ウンカ類)	ラブサイドK2フロアブル※ (いもち病、カメムシ類)
		1000倍 / 100ℓ (薬量100ml / 10a) + (薬量100ml / 10a)	1000倍 / 100ℓ (薬量100ml / 10a)
液剤体系	ドローン	スタークル液剤10+モンカットフロアブル (紋枯病、カメムシ類、ウンカ類)	ラブサイドK2フロアブル※ (いもち病、カメムシ類)
		8倍 / 0.8ℓ (薬量100ml / 10a) + (薬量100ml / 10a)	8倍 / 0.8ℓ (薬量100ml / 10a)

※収穫14日前まで

- ・無人ヘリコプターの散布予定時期は、折込みチラシなどで別途ご案内します。
- ・**本年は、カメムシが多発しており、今後の発生状況によっては3回目の防除が必要になる可能性があります。**雑草地付近などの発生密度が高い地域では、3回目の防除を担当指導員等にご相談ください。

○薬剤散布時の留意点

・**防除前に畦畔等の草刈りを行いましょう。**

- ・1回目の防除は紋枯病に効かせるため、落水し株元に薬剤がかかるように散布しましょう。
- ・防除効果を高めるため、**散布の間隔は1週間を目安（10日以上あけない）**としましょう。また、**防除の際は、畦畔を含む水田全体に薬剤がかかるように散布**しましょう。
- ・使用基準を厳守し、周辺作物への農薬飛散防止に努めましょう。また、露のあるときや稲の開花中の散布は避けてください。
- ・**田植えの早晚があるため、ほ場の出穂状況に合わせて散布してください。**

☆熱中症に注意しましょう

高温時の作業はできるだけ避け、複数名での作業を心掛けましょう。



★JAみな穂では営農情報を配信しています。

- ・営農メール：水稻栽培情報、気象・災害情報
- ・LINE：稲作管理特報などの各種特報

※右のQRコードを読み込み、案内に沿って手続きして下さい。



営農メール



LINE

・**みな穂** 営農センター ☎ 74-2440 ・**みな穂** あさひ支店経済課 ☎ 83-3212
新川農林振興センター農業普及課 ☎ 52-0094